

～ 地区センターを拠点とした 男女共同参画の拡がり～



芹澤センター長

第五地区コミュニティは、男女共同参画事業のモデル地区として取り組んでから2年が経過し、平成22年9月に静岡県の男女共同参画社会づくり宣言事業所登録団体の認証を受けました。

最初「男女共同参画」とは、言葉の上で理解できても、自治会活動に取り入れるのは至難の業、との声も多くありましたので役員会を立ち上げ、アドバイザーである県立大学教授犬塚先生のご指導により10回の勉強会を開催し、ようやく役員同一步調となりました。

企業のように組織がしっかり出来ているところでは対応も順調に出来ますが、各家庭では家庭環境や家庭を構成する世代によっても取り組みはそれぞれです。ましてや自治体となると大変なことです。

委員会としてコミュニティのみなさまにアンケートへのご協力をいただいた結果は、役員のみなさまが初めて感じた時と同じような内容でした。

地域のみなさまには実践活動(イベント)に参加して頂き、体験によって意識高揚を図っていただくために、親子参加のクリスマスケーキづくりや、手作り教室(ペーパークラフト工作)を開催しました。

今後も継続して実践活動(イベント)を推進して行くなかで、多くの参加者のみなさまが体験により男女共同参画の理解と定着(意識づけ)を図り、モデル地区第1号に相応しいコミュニティ活動の推進を期待します。

第五地区センター長 芹澤 保次



静岡県からの登録証

コミュニティとして静岡県内初の宣言団体

男女共同参画社会づくり宣言書

私たちは、男性も女性も個性と能力を十分に発揮し、いきいき活躍できるよう、次の取組を行うことを宣言します。

取組内容

- 1 自治会員をはじめ、コミュニティ内に男女共同参画意識の理解と浸透を図ります。
- 2 男女共同参画の視点を取り入れた自治会活動により、様々な地域の課題解決を図ります。
- 3 男女共同参画社会づくりのため、行政や学校、各種市民団体、他の自治会等と協力、連携を図ります。
- 4 一層女性の参画を進め、その能力が自治会活動に発揮できるように努めます。

平成22年9月17日

沼津市第五地区コミュニティ推進委員会 会長 高木 孝

モデル地区事業の2年を振り返って

沼津市第五地区コミュニティの皆さんとの、2年にわたる男女共同参画モデル地区事業調査を通してのお付き合いのおかげで、地域社会の持つ底力のようなものを実感できました。

この2年間での第五地区の皆さんの男女共同参画への理解と意欲は、私の予想を遥かに超えて高まっています。この取組が今後さらに皆さん自身の力で継続・発展して、沼津市全体に男女共同参画の地域づくりのうねりが広まっていくことを心から期待しています。

静岡県立大学国際関係学部 教授 犬塚 協太

編集：第五地区コミュニティ
男女共同参画推進委員 沼津市
発行：
沼津市企画部 市民協働課 男女共同参画担当
〒410-8601 沼津市御幸町16番1号
TEL.055(934)4705
FAX.055(934)2582
E-mail kyodo@city.numazu.shizuoka.jp
(平成23年3月発行)



第五のきずな

沼津市では、第五地区コミュニティを「沼津市男女共同参画推進事業モデル地区」として地域の行事に男女共同参画の視点を取り込み、地区のみなさんと2年間に渡り活動を行ってきました。

今回、第五地区での事業を終了するにあたり、事業報告として「男女共同参画情報紙ハーモニー特別号」を共に研究・実践してきた第五地区コミュニティ推進委員のみなさまと作成しましたのでお届けします。

平成21年度から第五地区を「沼津市男女共同参画推進モデル地区」として依頼を受け、早速、第五地区コミュニティ内に勉強会を立ち上げました。そして、地域内のたくさんの方々に行事を通しての取り組みに参加いただき、順調に2年を経過したと大変喜んでいました。

地域・学校・行政OBの代表の方々との10回以上にわたった会合で、男女共同参画の意義・対応・行動等、男女共同参画という言葉は知っていても、実際に勉強会を重ねるごとに広く、深いことを知り、現代生活の中ですでに行動できている事、もっと意識的に行動をしなければならない事などがわかり、参加者にとって大変良い勉強の機会だったと思います。

指導をいただいた静岡県立大学教授の犬塚先生には熱心に手ほどきをいただきました。そして、沼津市の推薦により静岡県の男女共同参画社会づくり宣言団体として認証されたことは、地域として大変名誉なことだと参加代表一同の喜びとなり、良い機会になったと考えています。

今後、ますます男女参画の取り組みが沼津市全域に広がることを願います。

第五地区コミュニティ推進委員会 会長 高木 孝



自主
防災
防災



防災スクール(7/31) 総合防災訓練(9/5) 地域防災訓練(12/5)



コミュニティ活動



通学合宿(10/28～10/30) 子どもの居場所づくり(5回) コミュニティ文化祭(11/7)



「今夜の夕食はカレーライスだってえ〜！」
「やったー！僕カレー大好き！！」
これは、青少年健全育成推進員としてコミュニティ事業のお手伝いをするようになって2年目の私が、今までで一番印象に残っている子供達の声です。
子供がカレー好きであることは、昔も今も変わらないことがわかり少し安心しました。
第五小・開北小の4年生～6年生を対象にした通学合宿事業（学校に通いながら、地区センターに2泊3日宿泊し、集団生活を行う事業）での一幕です。

「子どもの居場所づくり」や「通学合宿」を通した子どもと大人の男女共同参画

青少年育成推進員の主な仕事は、第五地区コミュニティの一員として他の部会と協力しながら、通学合宿事業や子供の居場所づくり事業（将棋教室・クリスマスケーキ作り・もちつき大会）文化祭、成人式を行うことです。



大家族のなかにいた昔の子供達とは違い、今の子供達は色々な大人達の応援が必要不可欠だということがわかりました。

いたづらをしたら「コラッ！」と怒る近所のこわいおじさんの役を地域コミュニティの大人達でやっていく必要がある、と感じました。

ボランティアで応援体制を整えることはなかなか大変なこともあります。子供達の笑顔を見るとそんな苦労も忘れてしまいます。



今後も、コミュニティ事業を多くの人達に知ってもらい、参加していただけるように頑張っていきたいと思います。

青少年育成推進員
地区代表 大野 哲



男女共同参画モデル地区事業のしめくくりとして、3月6日に「手作り教室」を第五地区センターで実施しました。
寒い朝でしたが、第五東・西・南・開北の各地区から26人の参加があり、推進員と共に約40人でペーパークラフトを楽しみました。



参加者は双子の子どもさんを連れのお父さん、お母さんと息子さん、おばあちゃんとお孫さんなど、3才の幼児から77才の女性までと幅広く、細かい手作業ながら兎やピカチュウ・新幹線・こいのぼり等、ハサミを駆使して切り取り、糊づけをして立体造形に仕上げました。
また、出来上がった紙相撲や恐竜対戦で遊びました。

手作り教室(ペーパークラフト)



ペーパークラフト終了後は、ミニコンサートを開き、ボランティアのギターに合わせて「幸せなら手をたたこう」を皆で歌い、楽しいひとときを過ごしました。

最後に、ご指導をいただいた犬塚先生から「皆笑顔で熱心に取り組み、家族や地域の人達との絆を深め合うことができました。これからは男だから、女だからにとらわれず、男でも女でも家庭や職場、地域でそれぞれ各自ができることを精一杯やりましょう。」と、エールをいただきました。



私たち第五地区男女共同参画推進員は、この「手作り教室」が地域づくりの一助になったことを嬉しく思い、今後も様々な活動を通して男女共同参画を推進していこうと話しました。
第五地区コミュニティ男女共同参画推進員
平田 三恵子
端山 しげ子